

まちづくり市民集会「未来につなげるまちづくり with コロナ～私にできること～」

意見募集結果(一部抜粋)

新型コロナウイルスの感染拡大で

変わったこと

- ・イベント、自治会活動、研修、出張、学校活動、懇親会等が中止・縮小された。
- ・子、孫、親、親戚、友人等に会えなくなった。
- ・外食、旅行、ジムなど外出できなくなった。
- ・オンライン会議やネットショッピングの利用が増えた。
- ・地域コミュニティの希薄化
- ・家族に対する心配
- ・先が見えない不安
- ・児童の活躍の場の減少
- ・学習面での不安
- ・ストレスの増加
- ・テレビやネットに頼りきりに

苦勞したこと

- ・子育て世代や高齢世帯など、人によって意識や対応が異なる。
- ・マスクで相手の顔や表情がわからない。
- ・子どもを連れていくところが少なく、公園くらいしかない。
- ・子どもがいる自宅でのテレワーク、職場との意思疎通の難しさ
- ・感染情報が少なく、振り回される。出産後の情報も少ない。
- ・売上の低下、パート従業員の休業
- ・イベントや会議等の中止の判断に戸惑った。
- ・通学や通勤でのバス、電車での密の回避が難しい。
- ・ジム通いをやめたことなどによる運動不足がなかなか解消できない。
- ・PC やスマホの操作が難しい。
- ・病院に行けず、持病の診察が受けられない。
- ・コロナによる差別や偏見

良くなったこと・できたこと

- ・市内にいる時間が長くなり、新たに知る“焼津の一面”があった。
- ・インフルエンザや風邪のことをあまり聞かなくなった。
- ・単身赴任の父が帰ってきて家族の仲が深まった。
- ・「みてね」という写真・動画アプリで、会わずにいつでも家族や親戚が子どもの様子を見てわかるようにした。
- ・研修やセミナーのオンライン化で参加しやすくなった。
- ・イベントの中止により、調査研究の時間が充実した。
- ・子どもと家で楽しめることを改めて考えるきっかけになった。
- ・テイクアウトを家で味わえる楽しみができた。

未来につなげる with コロナ時代のまちづくりのヒント！

「つながっていたい」想いを実現する手段

交流

- ・スマホ、パソコンの扱い方を家族、地域などで教え合う仕組み
- ・ボランティア活動が市全体に広がる仕組み
- ・出産したママ同士の交流など子育てが楽しくなる仕組み
- ・自治会ごとコーディネーターやファシリテータを養成する仕組み
- ・感染が落ち着いたら地域イベントが積極的に行えるような仕組み

子育て

- ・プレママ・パパ講座のweb配信や収録されたDVDの貸出
- ・子どもが読んで分かるようなコロナに関するQ&A

場所

- ・離職者や差別を受けている人の拠り所となる場所
- ・Zoomでテーマを決めておしゃべり会を開催
- ・みんなの自粛生活の知恵を集めて「焼津で子どもと楽しく過ごすためのガイドブック」を作成
- ・焼津の観光スポットや家族で楽しめる場所の発信

仕事

- ・コロナ対策をしてがんばっている団体や企業を紹介するサイト
- ・テレワークのモデルケースの提供ツール
- ・テレワーク移行のための通信機器等の補助

暮らし

- ・高齢者にもわかりやすい動画サイト
- ・室内でできる遊びや簡単レシピなどの発信
- ・焼津市内の飲食店が共同で提供する弁当宅配サービスで飲食店を応援する仕組み
- ・wi-fi環境が公的な場などで充実する仕組み
- ・お出かけ先の混雑情報がわかるようなサイトやアプリ
- ・コロナの現状をSDGsにつなげる仕組み
- ・オンライントレーニング用の器具が手軽にレンタルできるサービス
- ・手軽に受けられるPCR検査と結果がすぐに出る仕組み
- ・病院に行かなくてもオンラインで診療ができる仕組み

こんな仕組みがあったらいいな！

自治基本条例やまちづくりに対する想い

条例周知・市民集会

- ・なぜ自治基本条例ができたか成り立ちを周知
- ・市民にも効果やメリットなど自分自身に関わることをイメージしやすいように
- ・条例はルール、魂を入れるにはプラン・アクション・チェックが必要。このサイクルに関心を持ってもらえるかが肝
- ・市民と条例をつなぐコーディネーターなどの人材の育成を自治会ごとに推進
- ・市民が参加しやすいように公民館単位の市民集会を開催する
- ・市民集会の協力団体の育成
- ・市民集会で議論した結論や提言を市政に反映
- ・市民との対話の場、アンケートという形でもありがたい

巻き込む・つながる

- ・まちづくりの想いも高齢化している。若い人に引き継ぐことが大事
- ・地域にもっと子どもたちが参加できることを増やせば若い親も参加する
- ・高齢者や障害者の社会参加と子育て世代を絡めて応援したい
- ・公民館や自治会でもファシリタの講習を、自治会を巻き込んで市全体に！
- ・地域の支え合いが大切、それを子どもたちにつないでいく
- ・高齢者にもわかりやすい社会とつながる仕組み
- ・焼津にはまちづくりへの想いのある事業者が多いので、ダイブして直に声を聞く

まちづくりへの想い

- ・まちづくりへの関心は上がっている
- ・駅前にキッチンカーを！
- ・まず地域の求めるもの、地域の特色に合ったものを推進
- ・with コロナでの災害対策の検討と防災意識の向上
- ・お年寄りにもやさしい「デジタル化」を！
- ・ソーシャルメディアを導入して市民の声を集約し、市政に反映
- ・焼津の観光ウォーキングコースを発掘し、宿泊につなげては？
- ・まちづくりのベースであるコミュニケーションを令和の時代に合ったものに！
- ・新しい地域課題であるコロナ禍を市民、議会、行政が力を合わせて乗り切ることが大切